



申込期間 7/9(月)~23(月)

9・10月実施講座 PICK UP

Photo by Moto

プログラミング教育の基本的な考え方を学びます。※11月にも実施します。

512 プログラミング教育講座a —プログラミング的思考をはぐくむ授業づくり—

9/12(水) 総合教育センター 指標 ステージ2(中堅期)・学習指導

講師 大阪電気通信大学 情報教育特任講師 大村基将
大阪電気通信大学 教授 兼宗進

効果的な連携、生産性の高い仕事を実現するための考え方・スキルを学びます。

708 多忙化への対応とセルフマネジメント講座(企業連携)

10/2(火) 総合教育センター 指標 ステージ2(中堅期)・マネジメント

講師 株式会社ビジネスプラスサポート
人財育成プロデューサー 山田容子

社会が求める資質・能力や、企業が取り組むキャリア教育について学びます。

520 キャリア教育講座 —学校で学ぶことと社会との接続を考える—

10/9(火) 総合教育センター 指標 ステージ2(中堅期)・生徒指導

講師 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 生徒指導調査官
国立教育政策研究所 総括研究官 長田徹
清川メッキ工業株式会社 専務取締役 清川卓二

50分間でできるゲームからフィードバックまでの流れと評価方法を学びます。

439 中学校・高等学校外国語科教育講座 —即興型ディベートを授業に—(北部)

10/12(金) 北部研修所 指標 ステージ2(中堅期)・学習指導

講師 大阪府立大学 准教授
PDA 代表理事 中川智皓

人を大切にしながら成果を上げるマネジメントについて学びます。

706 企業から学ぶマネジメント講座(企業連携)

10/15(月) 京都商工会議所 指標 ステージ2(中堅期)・マネジメント

講師 株式会社FUKUDA 代表取締役社長 福田喜之
アクセルコンサルティング株式会社 代表取締役 岡原慶高

現実の課題をテーマとするグループ討議等から戦略的思考について学びます。

707 学校目標達成のための戦略的思考力演習講座

10/16(火) 総合教育センター 指標 ステージ2(中堅期)・チーム学校

講師 株式会社イント 代表取締役 掛川和彦

子どもの貧困問題に係る現状と実態を把握し、課題解決の方策を学びます。

509 人権教育講座Ⅱ —子どもの人権問題を考える—

10/23(火) 北部研修所 指標 ステージ2(中堅期)・人権

講師 幸重社会福祉士事務所 代表 幸重忠孝

学級経営やホームルーム活動に生かせる「ライフスキル」の育成方法を学びます。

852 思春期のライフスキル教育講座

10/30(火) 総合教育センター 指標 ステージ1(初任期)・生徒指導
専門領域

講師 ライオンズクエスト認定講師

連載「カリキュラム・マネジメントのススメ」第1回

知っていますか? 「カリキュラム・マネジメント」

新学習指導要領で必要性について述べられている「カリキュラム・マネジメント」。学校の教育目標の達成に向かって学習活動を最適化し、資質・能力の育成につながるとても重要な考え方です。難しそうな印象を受けますが、実際は多くの先生がすでに取り組んでおられる手法です。今回はその「カリキュラム・マネジメント」の概要について紹介します。

学校運営、学級経営、授業づくりで
こんな「困ったこと」ありませんか?

- ・総合的な学習の時間や特別活動の成果や課題が次につながらない
- ・総合的な学習の時間や特別活動と教科・領域の授業が繋がらない
- ・取組が増えすぎて、負担がどんどん増えてしまう など…

そんな時には…



カリキュラム・マネジメントで課題解決!

- ①現状の把握
- ②目標の設定
- ③カリキュラムの構築
- ④実行・評価・改善

課題解決に役立つのがカリキュラム・マネジメントです。左のように「現状の把握」から始まるサイクルで取り組みます。

きっともうすでに取り組んでおられる先生も多いでしょう。カリキュラム・マネジメントとは、こうした実践の手法を共有し、教職員全員で取り組むことでよりよい活動を生み出すプロセスなのです。

学びの直送便

喫緊の教育課題として重要なキーワードである「高大接続」「インクルーシブ教育」「小学校外国語活動」に関する講座の学びをそれぞれ紹介します。

440 高校教育の未来を考える講座－高大接続を視点にして－（5/24）

独立行政法人大学入試センター 大杉住子 審議役



大杉住子 審議役

講師に大学入試センターの大杉住子審議役を迎えて、昨年度末に告示された高校の新しい学習指導要領や高大接続を視点にした、これからの高校教育、大学教育、大学入学者選抜について講義いただきました。

文部科学省教育課程企画室長として学習指導要領改訂に携われ、また2020年から

始まる「大学入学共通テスト（仮）」の作問も担当しておられる審議役から、**新しい学習指導要領では各教科の「何を、どのように学び、何ができるようになるか、その成果をどう評価するか」**について、授業改

善の視点とともに解説していただきました。学力の3要素に関する多面的な評価、大学で求められている基礎力につながる高校での探求的な学び、そして、それらを見る「大学入学共通テスト（仮）」のねらいについて、問題を例に具体的に解説していただきました。

大杉審議役による「大学入学共通テスト（仮）」解説



最新の情報はこちら！



独立行政法人大学入試センター メールマガジン

特別支援教育「インクルーシブ教育システム」講座

529 -最新の動向・コーディネーターの役割- 【養成講座Ⅰ】（5/29）

兵庫教育大学 石橋由紀子 准教授



石橋由紀子 准教授

本講座では兵庫教育大学の石橋由紀子准教授を講師に迎え、インクルーシブ教育システムの基本的な知識や、学校内での特別支援教育コーディネーターの役割等について講義いただきました。

後半の演習では、グループで仮定の校内委員会を作り、特別支援教育コーディネーターの1年間の仕事を疑似的に体験しました。その演習を通して、学校内の情報収集や連絡調整、各学級担任への支援等、特別支援コーディネーターの具体的な役割を理解し、その上でどのような工夫が必要か、受講者自らが考えることができました。

支援機器展示会を実施しました！

国立特別支援教育総合研究所の「特別支援教育教材・支援機器等地域展示会」及び「発達障害地域理解啓発事業」を活用し、**支援機器展示会**を実施しました。



視線で操作できるパソコン（左写真）、専用の本やシールにタッチすると音声の流れ、文字を読むことが難しい児童生徒も本を読むことができる「VOCA-PEN」等、障害のある児童生徒の学習や生活をサポートする機器を展示し、具体的な使い方について、国立特別支援教育総合研究所の方に御説明いただき、理解を深めました。



小学校外国語教育講座

501 -移行期における外国語活動を構想する-（6/7）

大阪教育大学 箱崎雄子 准教授



箱崎雄子 准教授

学習指導要領改訂に伴い、小学校は今年度から移行期間となりました。特に外国語教育は大きな変革の時といえます。

本講座では、大阪教育大学の箱崎雄子准教授を講師に迎え、2020年度の全面実施に向けた、**移行期間における外国語活動の授業づくり**について学び合いました。

Today's Points

- ・学年・学校間の接続を意識すること
- ・指導者の示す語句や表現を機械的に繰り返すのではなく、**自分の気持ちや考えを伝え合う**ことができる言語活動を工夫すること
- ・高学年外国語科での「読むこと」「書くこと」については、「**音声で十分慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現**」とし、段階を追って指導すること

～話すこと（やりとり）について～

演習の一例から

How are you ? ～あなたはどんな風に言いますか～

- ・外国語の授業の初めに、先生に対して
- ・7年ぶりに出会った友達に対して
- ・顔色が悪い人に対して

👉 **相手や状況によって言い方は違う**
👉 **伝え方を工夫することが大切**

目的や場面にあった「話すこと（やりとり）」の言語活動の工夫

★話すこと（やりとり）の指導の注意点

- ・「やりとり」が続くような手立てを教える必要がある！
➡ つなぎことば、確かめる表現、質問をする、感想を伝えるなど
- ・自分の考えや気持ちなどを思わず**言いたくなるような話題を提供**することも大切！
- ・小学校でもその場で質問・応答する**即興的な力**が求められている！

